

交通系 IC カード導入に対する検討状況について

長野県 企画振興部 交通政策課

現 状

- ・ 県内での交通系 IC カード導入状況
 - ★ Suica : JR 東日本管内の一部 (松本～信濃境間)
 - ★ KURURU : 長野市内、須坂市内を発着するバス路線 (一部路線除く)
 - ・ 交通系 IC カード導入のメリット
 - ★ 利用者 (特に観光客) の利便性向上⇒公共交通の利用促進
 - ★ 移動経路等のデータを取得可能⇒取得データ活用による施策実施
- ⇒ 利用者等から 10 カードの利用範囲の拡大等を求める意見が寄せられている
- ・ 県では平成 28 年度から研究会等において交通事業者、関係市等と交通系 IC カードに関する情報共有、普及に向けた検討を実施

1 県内共通の交通系 IC カードの導入に対する考え方について

- ・ IC カードの導入に当たって重要なのは以下の 3 点

- ★ Suica など全国共通で利用できる 10 カードが利用できること。
- ★ 鉄道・バス・タクシーなど、できるだけ多くの交通事業者が参画すること。
- ★ 地域独自の割引サービス (高齢者パス) などの設定ができること。

- ・ その他の検討項目
 - ★ 初期投資やランニングコストの額及び負担割合、システム管理体制
 - ★ 導入の時期 (KURURU との連携)
 - ★ 交通以外の用途 (ショッピング等) との連携

2 事業主体に対する県からの補助及び支援に対する考え方について

- ・ 国において交通系 IC カードの導入費用の 1/3 を補助する制度が存在
- ・ 県を含む各主体の補助等については、ワーキンググループ等において今後検討

3 ワーキンググループの設置及び開催の予定について

- ・ 「地域における移動手段の確保・補完に関する検討会」を平成 29 年 5 月に設置
- ・ 平成 30 年度は検討を更に深掘りしていくため 4 つのワーキンググループ※を設置
 - ※ 「バスユーザー拡大」、「タクシー利活用」、「ヒト・モノ混載」、「交通系 IC カード普及」
- ・ 「交通系 IC カード普及」については、7 月に「タクシーの IC カード導入」について、事業者の導入に対する意向調査や機器の機能等を共有し検討を実施
- ・ 今後、10 カード事業者の動向を見ながら、バス、鉄道への IC カード導入に向けワーキンググループを開催する予定